（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	生坂村歴史文化遺産「一星亭」周知・再生プロジェクト
事業主体 （連絡先）	生坂村 （生坂村教育委員会社会教育係）
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業、(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	868,118 円（うち支援金：651,000 円）

事 業 内 容

村内初の国登録有形文化財「一星亭」の認知度向上の取り組みと村所有以来手付かずとなっている建屋、敷地内の整理を行う。

・主屋及び土蔵内の整理・片づけ実施
　参加者　いくさか大好き隊、地域住民
　実施回数３回　　参加人数　のべ３５名
　実施時期　１２月～３月
・建物や歴史的価値などを参加者が学習する
　実施回数１回　参加人数　１１名
　実施時期　１月２８日（日）
・加藤正治企画展の中で一星亭紹介コーナーを設置
　企画展来場者　のべ５７名

【学習会(主屋内部解説)】

【目標・ねらい】

①「一星亭」の認知度向上
②主屋、土蔵等の整理片づけ
③学習会により理解度を深める

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①村文化祭に合わせて開催した加藤正治企画展において一星亭の紹介コーナーを設置し、村内外の来場者に周知できた。

②３回開催し、主に主屋内の収蔵品の整理片付けが進んだ。１回目から継続して参加された方も数名おり、一星亭への関心度が高まった。

③主屋内部を見学しながら構造や歴史を学習でき、登録有形文化財として登録されて理由や意味を理解し、具体的な活用方法を検討するためのきっかけとすることができた。

※自己評価【C】

【理由】

・保存活用講演会を開催できなかった。

・整理片付け作業が概ね予定どおり進められたが、残されている収蔵品が多く、引き続き作業が必要である。

・学習会では、多くの質問がされて参加者の理解度が深まった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・地域住民向けの（仮称）「一星亭探訪ツアー」（見学会）の企画･実施や新しい方向性のひとつとして「民間の力」を活用するためのセミナーや学習会等により、歴史文化遺産保存活用に対しての知識、理解のある人材育成を図り、具体的な活用方法の検討へと繋げていく。

　また、引き続き主屋及び土蔵内の整理・片づけ及び簡易的な修繕や敷地内の整備等を実施し、一般開放可能な状態に整え、見学会等の開催ができるよう整備を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある